

大和信用金庫の環境への取組みについて

【地域の脱炭素・カーボンニュートラル実現に向けた取組みについて】

日本では2050年にカーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言する等、グリーントランスフォーメーション（GX）が求められる時代に突入しており、当金庫営業エリア内の中小企業においても脱炭素に向けた取組みが求められています。

当金庫も地域の中小企業や地域住民の皆さまとともに、脱炭素・カーボンニュートラルの実現に向けた取組みを加速させていく方針を掲げ、その一環として県内自治体に対し連携協定書締結を呼びかけ、令和6年11月末時点で13市町（「三郷町」「桜井市」「橿原市」「香芝市」「天理市」「宇陀市」「広陵町」「三宅町」「斑鳩町」「奈良市」「葛城市」「王寺町」「上牧町」（以上、連携協定書の締結順）と連携協定を締結し、広く脱炭素・カーボンニュートラルの意識醸成・取組み促進を目的に、協働しています。また、脱炭素につながる設備投資（企業向け）と電気自動車やハイブリッド車の購入、太陽光パネルの設置を含むリフォーム等（個人向け）に使える「脱炭素応援ローン」の取扱いを開始し、個社別支援のみならず地域を巻き込んだ面的支援を展開しています。

【環境配慮型ローン「やましん脱炭素応援ローン」の取り扱い】

奈良県内の中小企業における脱炭素に向けた設備投資の促進及び支援や、一般家庭における電気自動車（EV）、太陽光発電設備、家庭用蓄電池等の設置の促進及び支援のため、環境配慮型ローン「やましん脱炭素応援ローン（事業性融資および消費者ローン）」の取扱いを開始しています。



【ふるさと大和川源流体験ツアー】

子供たちへの自然教育の実施を目的に、奈良県内の大和川源流域を訪れて水質検査等を体験するイベントを奈良県・NPO団体等と協働にて企画・開催しています。環境に対する意識向上を図ると共に、親子のふれあいの場として有意義な時間を過ごせたとの反響を多くいただいています。



【本店駐車場への太陽光発電システムの設置について】

当金庫は、令和6年10月に本店駐車場へ太陽光発電システムを設置しました。

太陽光発電システムの設置は、当金庫が進めていく「脱炭素」への取組みの一環として実施し、発電した電力は本店本館の電力の一部として使用します。

また、当金庫の太陽光発電システムは、蓄電機能を装備しており、災害時等には非常用電源として活用でき、被災された方への電力供給が可能となっています。



【「脱炭素」に資する事業を対象とした企業版ふるさと納税】

企業版ふるさと納税制度を活用して、令和5年度より5市町村（天理市、橿原市、宇陀市、奈良市、葛城市）へそれぞれ100万円を寄付しました。

寄付金は、「脱炭素」に資する事業に寄付しており、天理市は「循環型社会『SATOYAMA』を実現！大和高原『福住村』プロジェクト事業」、橿原市は「エコライフ推進プロジェクト事業」、宇陀市は「自然豊かなまちづくり事業」、奈良市は「カーボンニュートラル・脱炭素社会の推進事業」、葛城市は「ゼロカーボンシティプロジェクト」に活用いただきます。

【「奈良県地域貢献サポート基金」への寄付】

奈良県が運営する「奈良県地域貢献サポート基金」に対して、「大和川水系の水環境改善事業」をテーマに50万円寄付しました。活動支援を希望するNPOや自治会等の地域貢献活動団体の「大和川水系の水環境改善事業」に補助が行われます。同基金への寄付は平成23年から毎年実施しており、今回で13回目の寄付（寄付総額625万円）となります。